


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【志布志市立志布志中学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1年 125人 2年 140人 3年 138人 計 403人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (総合的な学習の時間) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ スポーツに対する生徒の理解を深め、その興味・関心を高める。 ○ 生徒がオリンピック・パラリンピアンの方から、夢をもつことの大切さや、一生懸命努力することの大切さなどを学ぶ。
5 取組内容	○ 道徳で、パラリンピック・テニスの国枝選手を取りあげた授業を2年生で実施した。 ○ 総合的な学習の時間の「こころざし(志)講話」でパラリンピック・テニス元日本代表の二條実穂さんに講演していただいた。 



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ パラリンピックのスポーツやパラリンピアンについて関心が高まったり、理解が深まったりした。 ○ パラリンピアン生き様や考え方に共感したり、尊敬の念を深めたりして、今後の自分の生き方に生かしたいと答えた生徒が多かった。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ 当初は保健体育科の授業の一環としてオリンピック・パラリンピックへの理解を促す目的で企画していたが、3学期の総合的な学習の時間に企画していた「こころざし(志)講話」の実施時期を早めることで、各係と連携して進めることができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○ 本校では、保健体育科の体育理論、道徳科等と関連させた活動を行った。このような取組を行うことにより、大幅な教育的効果を得られる可能性が高いと感じた。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 特に計画はしていないが、今年度に行ったようにパラリンピックへの理解を深めるような日頃の取組を大切にしていきたい。</p>